

経済センサス - 基礎調査に関する研究会中間とりまとめ（概要）

平成 21 年経済センサス - 基礎調査の実施状況について

- 事業所・企業統計調査からの課題と新たな取り組み
 - ・ 調査対象事業所の的確な把握
 - ⇒ 事業所の捕捉率の向上を図るため、商業・法人登記簿等の行政記録情報を活用
 - ・ 企業単位の正確な名簿の作成
 - ⇒ 本社側から傘下支所事業所を捕捉することで正確な企業単位の名簿を把握
- 平成 21 年経済センサス - 基礎調査の実施状況と今後の方向性
 - ・ 行政記録の活用
 - 同一と思われる事業所が別の事業所として調査事業所名簿に記載される事例が発生
 - 事業所の活動状態について、調査員が「活動状態不明」とした事例が多く発生
 - ⇒ ビジネスレジスターの整備と関連しており、その整備方針の検討と併せて整理
 - ・ 調査手法
 - 調査票未提出事業所の増加、未記入事項の増加、傘下支所事業所の記入漏れ等の問題が発生
 - ⇒ 産業関連統計調査の母集団整備という基礎調査の役割上、改善が必要

今後の経済センサス - 基礎調査の在り方について

- 今後の調査手法を検討するにあたって
 - 調査手法については、全国すべての事業所・企業を確実に捕捉、事業所ごとに正確な情報を把握、正確な企業単位の名簿を早期に作成、集計・結果公表の早期化及び事務の平準化などを目的として、更に適切な調査手法を検討

平成 26 年経済センサス - 基礎調査の実施方法等について

- 調査手法について
 - 平成 21 年基礎調査で実施した企業単位での調査手法と従来、事業所・企業統計調査で実施していた事業所単位の調査手法を併用するという案について検討
- 平成 26 年経済センサス - 基礎調査（企業単位・事業所単位の調査手法併用案）の概要
 - ・ 平成 25 年に国直轄で企業構造の事前把握を実施
 - ⇒ 平成 26 年に実施する調査に先立ち本所・支所の名寄せ、親・子の名寄せ作業等を実施
 - ⇒ 企業構造に係る基本事項のほか、傘下支所事業所に係る改廃・新設状況等について把握
 - ・ 平成 26 年に事業所単位での調査
 - ⇒ 調査員が直接各事業所を訪問して調査票を配布・回収
 - ⇒ 従業者数、事業の種類など事業所に係る基本事項を把握

- 主な検討課題
 - ・ 各調査手法で捉える調査事項
 - ⇒ 企業構造の事前把握で確認する項目と事業所ごとの調査で把握すべき項目を整理・検討
 - ・ 企業構造の事前把握の実施時期
 - ⇒ 調査事業所名簿へ反映させる作業期間等、総合的に判断したうえで実施する時期を検討
 - ・ 企業構造の事前把握に係る調査対象
 - ⇒ 把握すべき情報が必要な企業等を考慮したうえで調査対象を検討
 - ・ 事業所ごとの調査に係る調査方法・調査事項
 - ⇒ 平成 26 年に実施予定の商業統計調査との関係について関係省と引き続き検討

平成 26 年経済センサス - 基礎調査試験調査について

- 試験調査における主な検証事項
 - 調査票の設計、調査の各段階での事務処理期間、プレプリント事項の確認状況 等
- 調査の方法
 - ・ 企業構造の把握
 - ⇒ 傘下支所事業所を保有する一部の企業に対し、国が委託した民間業者が郵送で実施
 - ・ 事業所ごとの調査
 - ⇒ 調査員が各事業所に対して調査票を配布・収集することにより実施
- 調査事項
 - ・ 企業構造の把握
 - ⇒ 企業構造を的確に把握するための調査事項のほか、母集団整備のために必要な項目、企業単位での名簿を効率的に作成するために必要な項目について把握
 - ・ 事業所ごとの調査
 - ⇒ 事業所に係る従業者等の基本的な項目を把握

平成 26 年経済センサス - 基礎調査に係る今後の検討の進め方

- 他調査との関係の整理
 - 平成 26 年に基礎調査と商業統計調査が実施されることから、過去に両調査を同時実施した際の経験を踏まえつつ、適切な調査手法等を引き続き検討
- 企業ヒアリングの実施
 - 企業構造の事前把握については、ビジネスレジスターへの収録事項を踏まえており、把握する内容が多岐に渡ることから、平成 23 年度に企業に対するヒアリングを実施
- オンライン調査手法の改善に向けた検討
 - 平成 23、24 年度に構築するビジネスレジスターに登録する情報等を用い、効率的に調査を実施するための仕組み、基盤システムの構築をレジスターの整備と合わせて検討
- 試験調査の実施、評価
 - 平成 24 年度に実施する試験調査において、企業構造の事前把握の対象となった企業については、アンケートも実施し、本調査の調査事項等を決定する際の有用な情報として活用